

令和4(2022)年6月21日

在学生、保護者の皆さま
受験生の皆さま

駿河台大学
学長 大森一宏

「2022年度〈秋学期〉授業実施基本方針」について

9月16日(金)から始まる〈秋学期〉の授業は、全面的に対面型授業で実施します。

本学では、一連の新型コロナウイルス感染症発生当初から現在に至るまで、一貫して、「学生の学修の機会の確保と感染防止対策の徹底の両立」が重要と考え、学内の感染防止措置に関するガイドラインを策定して可能な限り多くの科目を対面型授業として実施しています。

秋学期は、必要な感染防止措置を継続しながら、全面的に対面型授業を行う基本方針とします。これは、4年間という限られた時間の学生生活の中で、授業をはじめとする直接の対面による学生同士や学生と教職員との人的な交流は、本学の「愛情教育」のもとで豊かな人間性を涵養する上で重要な要素の一つであると考えているからです。

また、本学では、駿河台大学共通利用eラーニングシステム「Moodle(ムードル)」をコロナ禍の初期段階のうちに構築するなど様々なオンライン授業の対応を行い、その有用性についても検証を重ねて来ました。引き続き、こうしたオンライン授業のメリットとなる点を日常の授業の中に適切に採り入れるなどの工夫を行い、より良い授業環境を提供していきたいと考えています。

学生みなさんが、本学のキャンパスで充実した学生生活を送ることができるよう、教職員一同がサポートします。

以上

[補足説明]

- ① 疾患等の理由により対面授業の出席にリスクが伴うと本学が認める学生については、秋学期においても現行制度の対面授業特例措置の適用を考慮します。
- ② 教室の収容能力と履修者数との関係で、一部の授業について例外的にオンライン型で実施せざるを得ない場合があります。
- ③ 感染の社会情勢の著しい変化によっては、対面型授業の割合を一時的に調整する場合があります。
- ④ 秋学期における感染防止措置に関する事項及び対面授業特例制度等の詳細については、後日改めて学内ポータルサイト(ポタロウ)でお知らせします。